

活動内容

〈 題 〉 会員の親睦を深めるとともに家庭教育の充実を図る。

学級名 松園中学校家庭教育学級

学級担当者 富樫 房枝

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・ 構成員 松園中学校PTA会員
- ・ 学級の運営組織 松園中学校PTA教養部
- ・ 学習のねらい・重点

思春期講演会等を通して中学校の教育活動について理解を深めるとともに家庭教育の充実を図る。

2 学習計画と活動の状況

回	日時	講話題	講師（職・氏名）	参加人数
1	9月3日 13:30～	いろいろな性について学ぼう	岩手県男女共同参画センター職員 加藤麻衣 氏	75名
		内容	感想など	
		第2学年生徒を対象にした思春期講演会「性の多様性について」にPTA教養部員も参加した	・世の中には、いろいろな性のかたちがあるという事を知る機会になり、このことについて柔軟に考えられる人になってほしいと思いました。偏見や先入観で相手を見るのではなく個々の特徴を尊重し理解していきたいと思いました。	
2	10月2日	たいせつな命のために	岩手医科大学看護部 助産師 遊田由希子 氏	59名
		内容	感想など	
		第1学年を対象とした思春期保健教室にPTA教養部員も参加した。	・命の大切さについて赤ちゃんに誕生、出産を通してわかりやすい講話だったと思います。生徒達も積極的に先生の質問に答えていたと思います。人形を使用したり、教師の実体験を聞いたり生徒の皆さんもよい経験ができたと思います。	
3	11月2日 (土) 10:00～ 12:30	「自分からできる子」を育てる魔法のことば	コミュニティーカウンセラー 東海林 千秋 氏	41名
		内容	感想など	
		子どもを伸ばす言葉かけについてグループワークを通して考えを深めた	・普段つい口にしてしまっている言葉を言い方を変えるだけで子供も親もストレスやイライラから解放されることが分かった。また、子供のためと思って、ついつい口出ししていた事を少し我慢してあえて自分で考えて失敗させることも子供の自立を促すことになることが分かった。	

3 成果及び今後の課題

(1) 成果・活動において工夫したこと など

- ・生徒対象の講演を保護者と一緒に聞くことで家庭教育の充実につながると考えている。
- ・ワークショップ方の研修会は参加者から好評であった。

(2) 今後の課題

- ・コロナ禍でPTA活動が縮小したままの状態である。参加者を増やしPTA会員の交流を広げたい。

(3) その他、今後の「学びのつどい」の在り方に関すること など

- ・とくにありません